

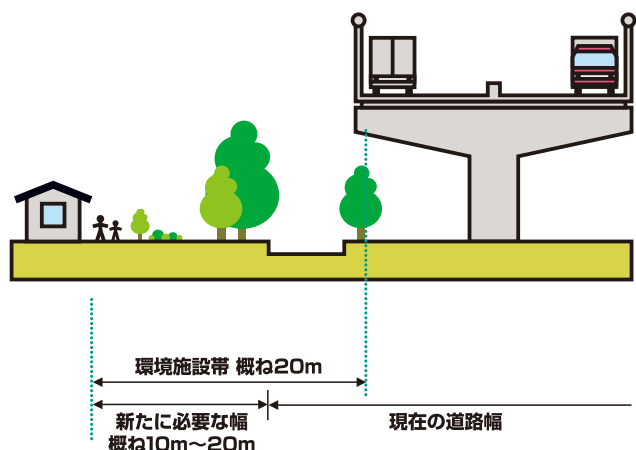
環境施設帯とは

23号の沿道で良好な居住環境が求められる地区において、現在の道路を概ね10～20m拡幅、23号本線と沿道の住宅地との間を広げ、幅広の植樹帯や歩道、地域の車のためのサービス道路などからなる「環境施設帯」を整備、環境の時代にふさわしい“人に優しい道”“豊かさを実感できるまちづくり”に貢献します。

環境施設帯の役割と効果

- 騒音・排気ガスなど車の影響を和らげる空間
- 住民の憩いの場・コミュニティの場の提供
- 都市災害時における防災空間
- 都市部における緑豊かな道路景観の形成

高架部のイメージ



平面部のイメージ

